

平成21年度病害虫発生予報第3号

平成21年6月2日
愛知 県

1 普通作物

イネいもち病は5月下旬現在発生を確認していませんが、気温20～25℃で降雨が続くと、発生が多くなります。本田を見回り初発生を確認した場合、速やかに防除しましょう。また、イネの補植用苗は、本田でのいもち病の伝染源になります。補植終了後は直ちに除去しましょう。

既に、本田でフタオビコヤガ幼虫（イネアオムシ）の発生を確認しています。特に、昨年多発したほ場では、今後の発生動向に注意しましょう。

2 果樹

現在、果樹類の病気の発生は概ね平年並ですが、ナシ黒星病、モモせん孔細菌病などが、一部のほ場でやや多い発生状況となっています。6月の降水量は平年並と予想されていますが、今後降雨が続く場合は、カンキツ黒点病、ナシ黒星病などが蔓延するおそれがあります。発生動向に注意し、早めの防除を心がけましょう。

フェロモントラップにおけるモモハモグリガの誘殺数は平年より少なく、ナシヒメシンクイは平年並の状況です。モモハモグリガ第2世代成虫の発生予測日は、名古屋市が6月6日、豊橋市6月11日、豊田市6月12日です。卵期間は4～5日ですので、ふ化直後の防除適期を逃さないようにしましょう。

ブドウでは、黒とう病の発生を一部で確認しています。黒とう病や晩腐病、べと病は、降雨が続くと急速に蔓延するおそれがありますので、昨年多発したほ場では特に注意して、適宜防除しましょう。

カキでは角斑落葉病および円星落葉病の感染時期です。昨年多発したほ場では、伝染源が多くなっていますので、必ず防除しましょう。

フジコナカイガラムシは5月末からふ化が始まっており、第1世代の防除適期となりつつありますので、ヘタや粗皮の隙間にも薬剤がかかるよう丁寧に散布しましょう。

果樹カメムシ類の予察灯とフェロモントラップにおける誘殺数は少ない状況です。しかし、越冬成虫数は平年並であったことから、夜温が高い日は果樹園への飛来が多くなる可能性がありますので注意しましょう。

3 野菜

施設トマト（促成・半促成栽培）の収穫が終了する時期です。タバココナジラミは、トマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を伝搬します。次作トマトが黄化葉巻病に感染しないように、栽培終了後、施設を密閉してタバココナジラミを死滅させ、発病株は適切に処分しましょう。

施設キュウリでは、キュウリ黄化えそ病およびその病原ウイルス（MYSV）を伝搬するミナミキイロアザミウマの発生が多いほ場が見られます。次作のキュウリへの伝染源を減らすため、収穫終了時には施設を密閉してミナミキイロアザミウマを死滅させるとともに、発病株を適切に処分しましょう。

4 花き

キク（露地）の白さび病は、梅雨に入ると発生が多くなります。特に親株床での発生に注意し、発病葉は取り除きましょう。また、他のほ場への伝染源となる可能性がありますので、不要な親株はできるだけ早く除去しましょう。

普通作物

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
イネ	いもち病 (葉いもち)	やや少ない	全域	昨年の発生量は少ない 5月下旬現在発生を確認していない 6月の降水量は平年並	— ± ±
	紋枯病	やや少ない	全域 (早期栽培)	昨年の発生量は少ない	—
	縞葉枯病	やや少ない	全域	県内全域で抵抗性品種が増加 ヒメトビウンカの発生量は平年並 ヒメトビウンカの保毒虫率は低い	— ± —
	ニカメイガ	平年並	全域	予察灯およびフェロモントラップにおける誘殺数は平年並	±
	ツマグロヨコバイ	平年並	全域	5月下旬の発生量は平年並	±
	イネミズゾウムシ	平年並	全域	5月下旬の発生量は平年並 予察灯における誘殺数は平年並	± ±

果樹

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	そうか病	平年並	全域	5月下旬の発生量は平年並 6月の降水量は平年並	± ±
	黒点病	平年並	全域	孢子形成量は平年並 6月の降水量は平年並	± ±
	ミカンハダニ	平年並	全域	5月下旬の発生量は平年並	±
	アブラムシ類	やや少ない	全域	5月下旬の発生量はやや少ない	—
	チャノキイロアザミウマ	平年並	全域	粘着トラップにおける誘殺数は平年並 イヌマキにおける5月下旬の発生量はやや少ない	± —

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ナシ	黒星病	やや多い	全域	5月下旬の発生量はやや多い 6月の降水量は平年並	± ±
	アブラムシ類	やや少ない	全域	5月下旬の発生量はやや少ない	—
モモ	せん孔細菌病	やや多い	全域	5月下旬の発生量はやや多い 6月の降水量は平年並	± ±
	黒星病	平年並	全域	4月の発病枝率は平年並 6月の降水量は平年並	± ±
	灰星病	平年並	全域	4月の発病花率は平年並 6月の降水量は平年並	± ±
	ナシヒメシクイ	平年並	全域	フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	±
	モモハモグリ ガ	平年並	全域	5月下旬の被害葉率は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数はやや少ない	± —
ブドウ	べと病	平年並	全域	5月下旬現在発生を確認してい ない 6月の降水量は平年並	± ±
	黒とう病	やや少ない	全域	5月下旬の発生量はやや少ない 6月の降水量は平年並	— ±
	晩腐病	やや多い	全域	昨年の発生量はやや多い 6月の降水量は平年並	± ±
	チャノキイロ アザミウマ	やや多い	全域	イヌマキにおける5月下旬の発 生量はやや多い 粘着トラップにおける誘殺数は 平年並	± ±
カキ	炭疽病	平年並	全域	昨秋の発生量は平年並 6月の降水量は平年並	± ±
	角斑落葉病 円星落葉病	やや多い	全域	昨秋の発生量はやや多い 6月の降水量は平年並	± ±
	うどんこ病	やや少ない	全域	5月下旬の発生量はやや少ない 6月の降水量は平年並	— ±
果樹共通	カメムシ類	平年並	全域	越冬成虫量は平年並 予察灯における誘殺数はやや少 ない	± —

・防除対策

〔ナシ黒星病〕

発病葉や発病果実は伝染源となるので、取り除き、園外へ持ち出し処分するとともに、ベルコートフロアブル、インダーフロアブル、アミスター10フロアブルなどで防除を徹底しましょう。また、薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連用を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布しましょう。

〔モモせん孔細菌病〕

品種によっては収穫期に入るので、収穫前日数に注意しデランフロアブル、パルノックスフロアブル、ダイボルトフロアブルなどで防除しましょう。

〔ブドウ晩腐病〕

降雨による果実感染を防止する袋掛けは、摘粒後速やかに実施しましょう。ストロビードライフロアブル、ホライズンドライフロアブル、オンリーワンフロアブルなどで防除しましょう。葉害が発生しやすい時期のため、品種と使用時期に注意しましょう。

〔ブドウ・チャノキイロアザミウマ〕

防除対策等詳しくは本日発表のチャノキイロアザミウマ情報第2号を参照してください。

〔カキ角斑落葉病、カキ円星落葉病〕

樹勢が弱まると多発しやすいので、肥培管理に注意して樹勢の維持を図りましょう。キノンドーフロアブル、アミスター10フロアブルなどで防除しましょう。

花き

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	白さび病	平年並	全域	5月下旬の発生量は平年並 6月の降水量は平年並	± ±

参考

東海地方 1か月予報 (名古屋地方气象台 5月29日発表)

〈予想される向こう1か月の天候〉

東海地方では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。週別の気温は、1週目は平年並の確率50%、2週目は平年並または低い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い : 40% 平年並 : 30% 高い : 30%
〔降水量〕 少ない : 40% 平年並 : 30% 多い : 30%
〔日照時間〕 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

〈予想される天候の特徴〉

当地方の向こう1か月は、平年と同様に低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いでしょう (5月30日~6月26日の晴れ日数の平年値は約12日)。

○ 農薬危害防止運動実施中 (6月1日から8月31日まで)

今年度の重点事項は次の3つです。

- 1 飛散防止に これまで以上に留意し 農薬の適正使用に努めましょう
- 2 無登録農薬は使用しない!
- 3 盗難防止の徹底を 毒物、劇物の譲渡に当たっては身元確認を

○ 農薬を使用するときは、ラベルの表示事項を必ず守りましょう。

○ 防除の際は、周辺作物に飛散しないよう注意しましょう。

- ・ 防除面積や用途に応じた防除器具、散布ノズルを選択しましょう。
- ・ 散布するときは朝夕など風の影響が少ない時間を選びましょう。
- ・ 風向きに注意し、他の作物の方向に散布しないように作業しましょう。
- ・ 飛散の恐れがあるときは、近接ほ場の生産者に連絡しておきましょう。

○ 農薬飛散の影響が少ない環境づくりを心がけましょう

- ・ 近接ほ場 (または同一ほ場内) の他作物との間に距離をあけましょう。
- ・ ネットや垣根等を利用し、近接ほ場との間に遮蔽物を設けましょう。

○ マイナー作物対策・ポジティブリスト制度・農薬ドリフト対策については

<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/minor.html> をご覧ください。